

7 管理運営の方向性



公園の適切な管理運営により、久屋大通の再生を契機としたまちの魅力の向上を図ります。

民間活力の導入などによる日常的なにぎわいづくり

- ・公園の日常利用を促進するため、来訪者が居心地よく過ごせる場づくりを目指します。
- ・飲食・物販サービスやレクリエーション利用に関するサービスなど、多様なニーズに応じた公園サービスを提供します。
- ・子どもたちが日常的に訪れたい公園として、ソフト面でも様々な遊び・学び・体験を提供できるよう努めます。



(南池袋公園／東京都)

誰もが居心地よく過ごせる公園の維持管理

- ・公園の清掃、植栽管理、安全点検などを適切に実施し、誰もが快適に利用できる公園の維持管理に努めます。
- ・草花の植え付けや夜間のライトアップなど、誰もが居心地よく過ごせる空間づくりを目指します。
- ・市民や地域の皆様の声を聞きながら、ゾーンの特徴等を踏まえて、公園の利用ルールやイベントの開催基準を整理します。
- ・公園を楽しむ人々が様々な活動を企画でき、管理運営に主体的に関われるボランティアな仕組みづくりを検討します。



(Hisaya-odori Park／名古屋市)

安心・安全な公共空間の形成

- ・ユニバーサルデザインの観点から公園の使われ方をチェックし、設備更新や運営方法の改善に反映します。
- ・巡回パトロールやマナー向上のための案内看板の設置など、利用者の日常的な安心・安全に配慮した管理運営に努めます。
- ・災害時には、緊急避難してきた人々を受け入れる広域避難場所として公園のオープンスペースを活用するとともに、帰宅困難者の退避行動を受け入れる公園施設の活用を図ります。
- ・公園が被災した際に、すみやかに安全確認を実施し、早期に復旧できるよう、迅速に対応できる管理運営に努めます。



災害発生時を想定した訓練のイメージ
(名古屋シェイクアウト／名古屋市)